

市の資産と負債の状況

①市民1人当たりの資産と負債残高

◆令和2年3月31日現在人口：47,078人
資産：168万円 負債：70万円

②純資産比率（今までの世代で負担済み）……………58.0%
社会資本に対する、現在までの世代がすでに負担している割合
【純資産／総資産】

③資産老朽化比率（資産の老朽割合）……………61.6%
償却資産の耐用年数に対して、取得からどの程度経過しているか把握する割合【減価償却累計額／取得価額】

◆令和元年度末現在
償却資産取得価額等：1,404億7,848万円
減価償却累計額：865億1,204万円

④負債比率（純資産に対する負債の割合）……………72.3%
※低いほど健全な財政状況を示す

令和元年度財政運営の総括

①業務活動収支 10億1,941万円
→堅調な財政運営

②投資活動収支 △28億8,257万円
（基金積立、資産形成）

③財務活動収支 16億9,769万円
（将来世代の負担軽減）

資金収支合計 △1億6,547万円
（①+②+③）

前年度資金残高との合計 22億 594万円

～「沼田市第4次男女共同参画計画」策定企画～

1001930

策定委員さんの思い② – 幸せに暮らせる社会をつくる –

問合せ 市民協働課協働推進係 ☎内線3051

「誰もが、ともに尊重し合い、思いやりと活力あふれるまちへ」をテーマに3月、沼田市第4次男女共同参画計画を策定しました。全3回にわたり、計画の策定に関わった市民の皆さんの声を紹介します。

沼田市男女共同参画推進委員会 元副委員長 真下真帆さん

テラス沼田6階にある「子ども広場」（子育て支援センター）には、毎日たくさんの親子連れが訪れます。以前は「小さな子ども連れのお母さん」がほとんどでしたが、最近は「小さな子ども連れのお父さん」の利用が多くなりました。スーパーマーケットでも「子どもと一緒に買い物に来たお父さん」の姿を見掛けることも珍しくなくなり、テレビの洗剤のCMにも男性が登場するなど、ここ10年ほどで

このような変化を目にすることが多くなりました。「男女共同参画計画」が策定され、それに関連して法律や制度の整備が進むと同時に、着実に私たちの生活においても「ジェンダーレス」「ボーダーレス」な方向に意識や行動が変わってきたと感じられます。「男女共同参画社会」とは「みんなのことはみんなで作る、考える」ことではないでしょうか。家庭や地域、社会においても、今まで誰かに任せていたことを、性別・年齢・職業・立場・国籍など関係なく、自分のことと考えて、みんなの意見に耳を傾け、みんなで決めて実行していくという、全員が主役の社会。実現すれば、沼田が元気に、活気のあるまちになって、若い世代が根付きやすくなるかもしれません。私たち一人一人が、身近なところから行動を起こすことで、誰もが住みやすいまちになっていくのではないのでしょうか。

木造住宅の耐震化を

新潟中越地震や東日本大震災など、震度5以上の地震が山間部の本市でも発生しています。大きな地震が起きたとき、古い木造住宅は倒壊する可能性があり、自分たちだけでなく、近隣への被害や避難救助の妨げになります。阪神淡路大震災では、救助が必要な人の8割が近所の住民に助けられ、地震に強い家に住むことは、多くの命を救うことにもつながります。本市では、昭和56年以前の木造住宅に耐震診断者派遣や耐震改修工事の補助をしています。

ステップ1 家の強度を知る

木造住宅耐震診断者派遣事業
を利用しましょう（診断無料）

ステップ2 安心への備えを

木造住宅耐震改修工事を検討しましょう。工事費の5分の4を補助します（上限100万円）

プラスアルファ 耐震シェル

ターの設置

地震が起きても家の中で安心

問合せ 建築住宅課建築指導係

☎内線4112

1002556・1002557
1007580